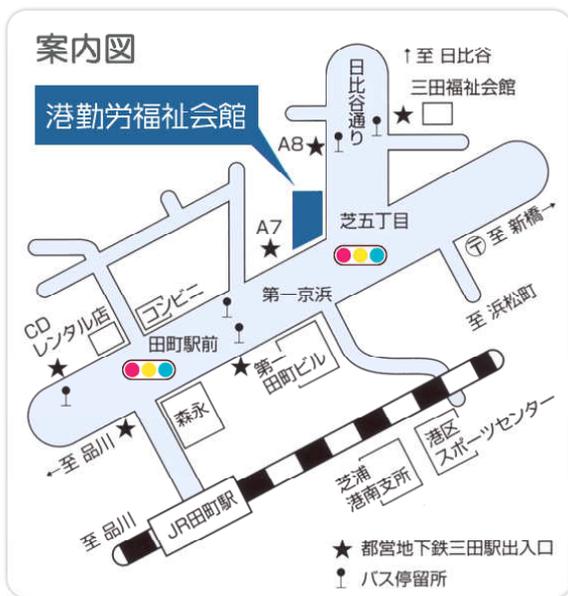


警察は、なぜ私を犯人に仕立て上げたのか？ 柳原浩さん（富山冤罪被害者・国賠原告）を迎えて

11月14日（土） 於：港勤労福祉会館（第1洋室） JR田町三田口 都営地下鉄三田



主催／無実のゴビンダさんを支える会
連絡先／080-6550-4669（事務局）
<http://www.jca.apc.org/govinda/>

講師・柳原 浩さん（富山冤罪被害者・国賠訴訟原告）
なぜ国家賠償請求訴訟をたたかうのか
解説 安田聡さん（富山冤罪国賠を支える会・事務局）
開場 午後1時半 開始2時〜終了5時（予定）
参加費500円
予約不要・当日会場に直接おいで下さい。

2002年、富山県氷見市で2件の強姦、強姦未遂事件が連続して発生。犯人として逮捕された柳原浩さんは、富山県警・氷見署による拷問的取調べによって「自白」を強要され、懲役3年の実刑判決を受けて服役した。しかし刑期を終えた後で真犯人が逮捕され、2007年、再審で無罪が確定した。

しかし再審裁判では、警察・検察の違法な捜査と取調べや一審裁判所の誤判原因はまったく明らかにされず、形式的に無罪を言い渡すことで幕引きがはかられた。

「警察はなぜ私のところに来たのか？どうして私が犯人に仕立て上げられたのか知りたい」

柳原さんはこうして国、富山県および取調べ官（長能善揚警部補、松井英嗣副検事）を被告とする国家賠償請求訴訟を起こした。国賠で冤罪の真相を明らかにしようとする闘いについて、原告と支援者からお話していただきます。